

勢小だより

平成29年3月24日

勢和小学校

本年度を振り返って

昨年、4月6日に始業式・入学式があつてから1年がたちました。



少し緊張しながらも、キラキラと目を輝かせて入学してきた1年生が、もう何年もここで生活してきたように、勢和小学校の一員となつて生き生き活動しています。改めて、1年間の子どもたちの成長とはすごいものだと感じています。

さて、4月のこの「勢小だより」で私は

「私たち職員は、学校空間すべてが『学び』の場になることを目指し、家庭・地域との連携を大切にし、本校教育の推進に全力で取り組んでいく所存です」と述べさせていただきました。

年度末になり、このお約束が果たせたかどうか、全職員で1年を振り返り、来年度への学校の方針を検討しているところです。

私は、何かに取り組むとき、一番肝心なのは、一人ひとりのモチベーション（意欲）であると思っています。それは、大人も子どもも同じです。

なぜなら、自分から取り組んだことは、うまくいってもそうでなくても、必ず次につながるからです。前向きであれば、失敗もいってきます。私たちは、これからも子どもたちの主体的な学びを大切にしていきたいと思っています。

本年度、子どもたちは本当によく頑張ったと思います。

その一つの例が学校図書館の利用です。

下表のように年間の貸し出し冊数がなんと、合計25,982冊にもなりました。

貸出冊数	予約	リクエスト	授業利用
25,982冊	1,384冊	73冊	172時間

合計冊数を単純に1人あたりに換算すると、1年間に約97冊（昨年度約86冊）の本を借りて読んだこととなります。蔵書冊数が現在7,596冊なので、その3.4倍を超える貸出冊数があったことは本当にびっくりしました。

様々な授業の「調べ学習」での利用、学校司書の読み聞かせやブックトークなど、取り組みの成果がこの数字に表れています。予約が多いのも、子どもたちの興味や関心が高まってきたからでしょう。

ただ、数字には表れない大切なこともあります。それは、どんな本をどのように読んだかということです。今後、子どもたちの読書の質がどうなっているのか、どう高めていけばよいのかを検討していきます。また、取り組みの成果は、すぐさま学力調査等の数字で「学力が向上した」という結果には表れないかもしれません。しかし、子どもたちの「学ぶ力」を高めることにはしっかりとつながっています。この子どもたちのがんばりや良さをもっと伸ばすことで、様々な課題に取り組んでいきたいと考えています。

SOCS、地域学習等へのご協力ありがとうございました

SOCS 活動では「安全」「防災」「食物・栽培」「自然・環境」「歴史・文化」「学習支援」「想像・創造授業」の7つの分野で、本年度も様々な新たな取り組みを盛り込んでいただきながら、子どもたちの学習を支援していただきました。

とりわけ「安全」分野では、雨・風・雪の日も、一日も欠かさず、子どもたちの登下校を見守っていただきました。また、「食物・栽培」分野のコメ作りや大豆作りでは、種から育て、命が一巡する体験をさせていただきました。

すべての活動分野で、本当にありがたいと私たちが感じているのは、「様々な人との出会いや交流がある」ということです。実は、このことが子どもたちにとって教科の学習内容と同じくらい大切な学びになっています。来年度も、学校を支援・応援してくださいますようお願いいたします。

39名の子どもたちが学び舎を飛びたっていました



在校生・卒業生保護者の皆様、来賓の方々、本校職員に見送られ39名の卒業生が立派に勢和小学校を巣立っていきました。卒業生のみんな、「ありがとう」

彼らはきっと、中学校でも大きく羽ばたいてくれることでしょう。



4月当初の予定

6日(木)入学式準備 (新6年生は9:00に登校)

7日(金)着任式・始業式・入学式

11日(火)給食開始

13日(木)PTA 新旧本部役員会 19:00～ PTA 全委員会・常任委員会 19:30～

22日(土)授業参観・PTA 総会・学年懇談会 (「土曜日の授業」扱いで振替えは無し)